

- 8月のミシガン大学消費者マインド指数の速報値は、およそ10年ぶりの低水準を記録。現在の景況感は1年4か月ぶりの低水準となったほか、先行きの景況感はおよそ8年ぶりの低水準を記録した。
- ミシガン大学は同指数の低下について、感情的な反応と指摘。昨年水準をも下回った同指数の大幅な低下は行き過ぎの可能性も考えられ、8月の消費者信頼感指数の内容に注目する必要があります。

先行きの景況感が市場予想を大幅に下回った

13日に発表された8月のミシガン大学消費者マインド指数（以下、同指数。）の速報値は70.2と、前月の81.2から横ばいと市場予想（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）に反して大幅に低下し、2011年12月以来、およそ10年ぶりの低水準を記録しました。低下幅は昨年5月以降で最大でした。

内訳をみると、現在の景況感は77.9と、市場予想の83.5を下回り、昨年4月以来、1年4か月ぶりの低水準となりました。先行きの景況感は65.2と、市場予想の78.0を大幅に下回り、2013年10月以来、およそ8年ぶりの低水準を記録しました。

このほか、調査回答における耐久財の購入時期に関しては、家庭向け大型消費財にとって良い時期との回答比率が43%と、昨年5月以降で最低となったほか、自動車が31%と、1980年5月以来、およそ41年ぶりの、住宅が30%と、1982年9月以来、約39年ぶりの低水準を記録しました。

1年後の予想物価上昇率は4.6%と、2008年8月以来、約13年ぶりの高水準を記録した前月の4.7%から小幅に低下したものの、高水準を維持しました。

悲観の異常なまでの高まりには感情的な反応も

ミシガン大学は同指数の低下について、家計に対する悲観的評価の異常なまでの高まりは、主に新型コロナウイルス感染拡大が間もなく収束するとの希望を打ち砕かれたことによる、感情的な反応を映しているとなりました。

昨年の水準をも下回った同指数の大幅な低下は、足もとの良好な米国経済動向を考慮すれば、やや行き過ぎの可能性も考えられます。

8月の消費者信頼感指数の内容に注目する必要

7月の動きを振り返ると、同指数が低下したのに対し、全米産業審議会（コンファレンス・ボード）が発表した消費者信頼感指数は市場予想を上回り、2020年2月以来、約1年半ぶりの水準を回復しました。

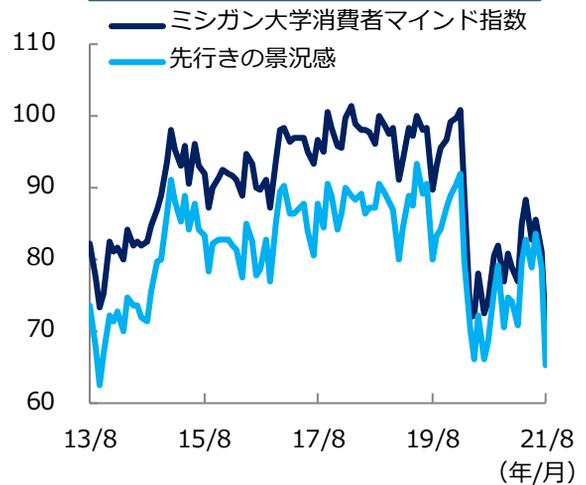
耐久財の購入に関する見方についても、同指数では記録的な低水準となったのに対し、消費者信頼感指数では高水準へ上昇しました。

こうしたことから、消費者動向をより精査するうえで、今月下旬に発表される8月の消費者信頼感指数の内容に注目する必要があります。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

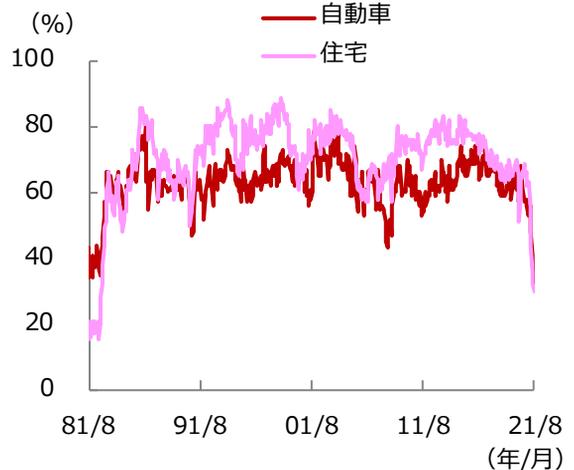
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

消費者マインド指数の推移



※期間：2013年8月～2021年8月（月次）
2021年8月は速報値。1966年=100とする

耐久財の購入が良い時期との回答*



* ミシガン大学消費者マインド指数における回答
※期間：1981年8月～2021年8月（月次）
2021年8月は速報値

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。